

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

16

第四幕 第3場

モンセラットを目指して

登場人物： 巡礼者 イニゴ・デ・ロヨラ
道連れ ムハンメッド(モール人)

【語り】 地上の騎士から神の騎士へと生まれ変わり、巡礼を志して故郷ロヨラを離れたイニゴは、ナバレッテに行き世話になったナヘラ公爵に挨拶したのち、モンセラットを目指して旅を続けた。道すがら一人のモール人が話しかけてきた。

ムハンメッド：こんにちは！いいラバに乗ってますね。どちらまで？

イニゴ：やあ、こんにちは。あなたのラバも立派ですよ。よく似てますね！

今、モンセラットに行くところです。

ムハンメッド：モンセラット？では方角は同じですね？私もその途中の町に行くところです。モンセラット修道院には、有名な聖母子像があるそうですね？

イニゴ：ええ。私もその聖母像の前で祈りたいと思っています。乙女マリアへの尊敬の心を表したいので。

ムハンメッド：乙女マリア？こりゃあ可笑しい。だってイエスの母親なんでしょう？母親が処女であるわけがないでしょう？

イニゴ：何を言うんですか、あなたは！聖母マリアを侮辱するつもりですか？

ムハンメッド：侮辱するも何も、ただ常識を言っているだけですよ。

イニゴ：それはあなたが神の力を知らないからだ。人間には不思議なことでも、全能の神にお出来にならないことは何一つないのです。

ムハンメッド：そうむきにならなくてもいいじゃないですか？ 一步譲って、神の御子の処女懐胎は特別に認めてもいいが、そのあともずっとマリアが処女だったとは信じられませんな。

イニゴ:そんなことを言うのは 1500 年にわたってキリスト教徒が信じてきたことを全く否定することになるし、マリア様に対する大きな失礼にもなりますよ!

ムハンメド:気に障ったらごめんなさい。あなたが信じたいならその邪魔をするつもりはありません。一寸急ぐので、お先に失礼。

【語り】 イニゴは何とかしてこのモール人の考えを変えさせようと努力したが、議論は平行線をたどり、説得することはできなかった。モール人が行ってしまった後、一人旅を続けたイニゴの脳裏を、二つの相反する考えが去来した。

【黒い使の合唱】

♪イニゴ よイニゴ 臆病者 それでもお前は 元騎士か?
お前が仕えるマリアさんが 受けた侮辱を 見過ごすのか?

イニゴ:ほんとにそうだ。こんな時騎士アマデイスだったらどうするだろう? 姫の名誉を守るために、相手と決闘して打ち倒し、雪辱を果たすだろう。

【黒い使の合唱】

♪そうだそうだ その通り そう来なくっちゃ 騎士じゃない
あいつに今なら追いつける 決して生かしておけぬ奴だ

イニゴ:よーし、今に見ている。この短剣の切れ味を思い知らせてやるわ。

【白衣の天使の合唱】

♪ああイニゴ 思ってもみよ なが聖母 そを望み給うや?
おのが為 血が流されて ひとのいのち 奪わるることを?

イニゴ:それにも一理ある。母心は流血や殺人を望まないだろうな?

【黒い使の合唱】

♪イニゴよイニゴ 意気地なし あの異教徒が 怖いのか
パンプローナの 勇士なら 聖母の敵を やっつける

イニゴ:あんな男が怖いわけではない。……が、あいつを殺すことを聖母が望んでおられるのかどうか。

【白衣の天使の合唱】

♪ああイニゴ 母なるマリアは キリストを 信ずる者も
御子イエスを 信ぜぬ者も 母心もて 愛しいたもう

イニゴ:ということは、あいつさえも我が子として 愛しておられるというのか？

しかし、あのような誤解を許していいいいのか？

ああ、私はどうすればいいのか？

神様、私のとるべき道を教えてください。